

アメリカでの抱負を語る七飯高校の生徒



米国の文化楽しみたい

七飯の訪問団抱負 9月に59人がコンコードへ

【七飯】9月にアメリカ・マサチューセッツ州コンコード町に向かう町の姉妹都市交流訪問団の事前研修会と説明会が11日、町文化センターで開かれた。町の公式訪問団の中学生らと姉妹校のカリフォルニア高校を訪問する七飯高校の生徒、保護者らが参加。「アメリカの文化を楽しんできたい」とそれぞれが抱負を語り、期待に胸を膨らませた。

訪問団は中学生5人を含む町の海外交流派遣研修訪問団14人と、七飯高校の吹奏楽局や英語部の生徒ら姉妹校交流訪問団の59人予定し、七飯からの派遣では、過去最大の規模となる。一行は9月23日に渡米し、10〜12日間の日程で、現地でホームステイをしながら、交流を深めるほか、同校の吹奏楽局は、カークライ

ル高スクールバンドと合同演奏会を開く。

中宮安一町長は「相手の目を見て話せば、大体のことは通じる。しっかりアメリカを楽しむことが、コンコードと

七飯の友好を一層深くすることにつながる」と激励。小越康雄校長は「昨年、姉妹校提携を結び、両校がつよいきずなで結ばれていることを確認した。多くの関係者の尽力で、訪問派遣が実現することになった」とあいさつした。

渡米する生徒たちは自己紹介でそれぞれ、「一生の思い出を作りたい」「演奏技術を

学んできた」となど決意を語った。町の公式訪問団参加者は今後、七飯やコンコードの歴史などを学ぶ研修会を経て、9月の渡米に備える。

(今井正一)